

令和8年1月8日

労働政策フォーラム

「企業におけるデジタル技術の活用と人材育成」

# 中小企業等に対するデジタル推進人材 の育成支援について

(独) 高齢・障害・求職者雇用支援機構  
公共職業訓練部 訓練支援課  
宿谷 慶

らしく、はたらく、ともに



**JEED**

独立行政法人

高齢・障害・求職者雇用支援機構

Japan Organization for Employment of the Elderly, Persons with Disabilities and Job Seekers

令和8年1月8日

労働政策フォーラム

「企業におけるデジタル技術の活用と人材育成」

- ▶ 1 J E E Dの紹介
- ▶ 2 生産性向上人材育成支援センターの概要
- ▶ 3 D X推進の取組
- ▶ 4 その他

／らしく、はたらく、ともに／



**JEED**

独立行政法人

高齢・障害・求職者雇用支援機構

Japan Organization for Employment of the Elderly, Persons with Disabilities and Job Seekers

**JEED**は、ブランドメッセージ「らしく、はたらく、ともに」を通して、年齢や障害の有無にかかわらず誰もが能力を発揮し、意欲を持って安心して働ける社会の実現を目指しています。  
このため、高齢者、障害者、求職者、事業主など様々な利用者の方に、総合的な支援を実施します。

## JEEDは、3つの分野でSDGsを支援します！

高齢者雇用支援業務

### 高齢者が年齢に関わりなく働き続けることができる生涯現役社会の実現

- 70歳までの就業機会の確保に向けた相談・援助
- 高齢者の雇用の安定のための助成金支給
- 生涯現役社会の実現に向けた啓発・広報活動
- 高年齢者雇用に関する好事例の収集・発信

HPの「マンガで考える高齢者雇用」コーナーなどに登場しているペン田ギン子です



障害者雇用支援業務

### 障害の有無に関係なく、希望や能力、適性等に応じて活躍できる社会の実現

- 障害者・事業主等の多様なニーズに対応した職業リハビリテーションサービスの提供
- 地域の就労支援機関等への助言・援助
- 障害者雇用納付金制度に基づく納付金の徴収及び助成金等の支給
- 社会一般に対して関心と理解を深めるための啓発・広報活動

障害者技能競技大会（アビリンピック）のマスコットキャラクターです

アビリス



☆abilys

職業能力開発支援業務

### 仕事を通じて自らの能力を存分に発揮し、生き生きと活躍できる社会の実現

- 雇用のセーフティネットとしての求職者を対象とした職業訓練
- 高度なものづくりを支える人材の養成
- 在職者を対象とした職業訓練や事業主への相談・援助  
(リスクリング・学びなおし、中小企業でのDX人材育成の推進の支援)
- 職業訓練指導員の養成

公的職業訓練（ハロートレーニング）のキャラクターです

ハロトしく

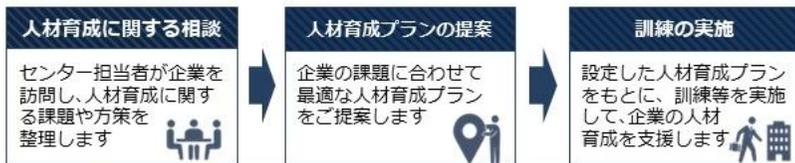


ハロートレーニング  
——急がば学べ——



# 生産性向上人材育成支援センターが 企業の人材育成をサポートします!!

高齢・障害・求職者雇用支援機構は「誰もが職業をとおして社会参加できる共生社会」を目指し、高齢者や障害者、求職者等の方々に対する様々な雇用支援施策を国に代わって実施する厚生労働省所管の独立行政法人です。当機構では、全国の公共職業能力開発施設（ポリテクセンター・ポリテクカレッジ等）に「生産性向上人材育成支援センター」（生産性センター）を設置し、企業の人材育成に関する相談支援から、課題に合わせた人材育成プランの提案、職業訓練の実施まで、企業の人材育成を総合的にサポートします。



## 在職者訓練（能力開発セミナー）

設計・開発、加工・組立、工事・施工、設備保全など“ものづくり分野”における、「技能・技術の向上」や「新たな製品づくり」といった生産現場の課題を解決するための実習を中心とした職業訓練です。DX（デジタルトランスフォーメーション）につながるデジタル技術に対応した訓練やGX（グリーントランスフォーメーション）につながる環境・エネルギー分野に関連する技術に対応した訓練も実施しています。地域のニーズを踏まえた訓練コースを設定するとともに、個別企業等のオーダーに応じた訓練コースにも対応し、機構の職業訓練指導員等が訓練を実施します。

- 訓練実施場所  
全国のポリテクセンター、ポリテクカレッジの実習場 など
- 訓練時間数  
12時間～30時間
- 受講料（1人あたり平均）  
7,000円から30,000円程度  
※平均13,000円程度、訓練内容や使用機材率により変動
- 主な訓練分野

- 【機械系】 機械設計/加工、溶接加工 など
- 【電気・電子系】 電気設備保全、電子回路設計 など
- 【居住系】 建築設計・製図、建築施工、建築設備工事 など

「従業員が身に付けるべき能力についての整理にも取り組みたい」といった場合には…機構が業種ごとに整備している「職業能力の体系」モデルデータを活用し、各企業の仕事・作業に必要な知識や技能・技術の見える化等をサポートします。



▲ 難前材の切削加工実習



▲ 3次元CADを活用した機械設計実習



▲ 小型ロボットアームの制御実習



▲ 木造輪組工法による建物組立の実習

「ハロートレーニング-急がば学べ-」とは、新たなスキルアップにチャレンジするすべてのみなさんをサポートする公的職業訓練の窓口とキャッチフレーズです。



## information

### 指導員の派遣/施設設備の貸出

「研修したいが講師がない」「研修したいが機械を止められない」「研修場所がない」といった企業の要望に応じて、機構の職業訓練指導員（テクニインストラクター）を企業に派遣することや、ポリテクセンター等の施設・設備（実習場や訓練用機器等）の貸出しを行っています。



### 人材開発支援助成金

生産性センターが実施する職業訓練を従業員に受講させた事業主の方は、人材開発支援助成金を利用して、訓練経費や訓練期間中の賃金の一部等の助成を受けることができます。

助成金の利用に当たっては、訓練対象者と訓練内容の関連が認められること、10時間以上の訓練であることなど一定の条件がありますので、詳しくは各都道府県の労働局にお問い合わせいただくか、厚生労働省ホームページをご確認ください。



（厚生労働省HPへ）

## 生産性向上支援訓練

生産管理、IoT・クラウド活用、組織マネジメント、マーケティング、データ活用など、あらゆる産業分野の生産性向上に効果的なカリキュラムにより、70歳までの就業機会の確保に向けた中高年齢層の従業員の育成や、DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進に資する人材の育成を支援するなど、中小企業等が生産性を向上させるために必要な知識・スキルを習得するための訓練です。

個別企業の課題に合わせてカリキュラムをカスタマイズする訓練コースや、地域のニーズを踏まえた訓練コースを設定し、専門的知見を有する民間機関等に委託して実施します。

- 訓練実施場所  
企業の自社会議室 など
- 訓練時間数  
6時間～30時間  
（「IT業務改善」は、4時間～30時間）
- 受講料（1人あたり・税込）  
3,300円～6,600円  
（「IT業務改善」は、2,200円～4,400円）
- 主な訓練分野・コース



- 【生産・業務プロセスの改善】
  - 生産現場の問題解決
  - RPA活用
  - テレワークを活用した業務効率化 など
- 【横断的課題】
  - 組織力強化のための管理
  - 後進指導力の向上と中堅・ベテラン従業員の役割
  - 効果的なOJTを実施するための指導法 など
- 【売上げ増加】
  - マーケティング志向の営業活動の分析と改善
  - 提案型営業実践
  - オンライン営業技術 など
- 【IT業務改善】
  - 表計算ソフトのマクロによる定型業務の自動化
  - 集客につなげるホームページ作成
  - テレワークに対応したセキュリティ対策 など

「まずは試しに1～2名の従業員に訓練を受けさせたい」といった場合には…広く受講者を募集して実施する公開型の訓練も実施しています。他社の従業員と一緒にグループワークなどを行うことで、自社の強みや課題の気づきにつながります。

### 人材のマッチング

ポリテクセンターでは、離職者向け職業訓練を実施しており、受講者の求職情報を企業に提供し人材を採用したい企業とのマッチングを支援しています。また、ポリテクカレッジでは、高校卒業者等を対象に、ものづくりに関する高度な実践技能者の養成を行っています。



### DX人材育成の支援

生産性センターでは、「中小企業等DX人材育成支援コーナー」を設置し、企業の皆様からの「デジタル対応に係る人材育成の悩み」に関するご相談を受け付けています。また、在職者訓練・生産性向上支援訓練ではDXに対応した訓練コースを整備し、中小企業・事業主団体等のDX人材の育成を支援しています。



## 生産性向上人材育成支援センター設置施設一覧

都道府県	施設名(所在地)	電話番号	都道府県	施設名(所在地)	電話番号	都道府県	施設名(所在地)	電話番号
北海道	ポリテクセンター北海道(札幌市西区)	011-640-8822	山梨	ポリテクセンター山梨(甲府市)	055-241-3218	高知	ポリテクセンター高知(高知市)	088-833-1085
	ポリテクセンター旭川(旭川市)	0166-48-2412	長野	ポリテクセンター長野(長野市)	026-243-1001		ポリテクカレッジ高知(香南市)	0887-56-4111
	ポリテクセンター釧路(釧路市)	0154-57-8114		ポリテクセンター松本(松本市)	0263-58-2905	福岡	ポリテクセンター福岡(北九州市八幡西区)	093-641-4906
	ポリテクセンター函館(函館市)	0138-52-0323		ポリテクセンター岐阜(土岐市)	0572-54-3161		” 福岡事務所(福岡市中央区)	092-738-8875
	北海道ポリテクカレッジ(小樽市)	0134-62-3553	” 岐阜事務所(岐阜市)	058-265-5801	ポリテクセンター飯塚(飯塚市)		0948-22-4018	
青森	ポリテクセンター青森(青森市)	017-777-1234	東海	ポリテクカレッジ(揖斐郡大野町)	0585-34-3600	九州	ポリテクカレッジ(北九州市小倉南区)	093-963-0125
	ポリテクカレッジ青森(五所川原市)	0173-37-3201	静岡	ポリテクセンター静岡(静岡市駿河区)	054-285-7185	佐賀	ポリテクセンター佐賀(佐賀市)	0952-26-9497
岩手	ポリテクセンター岩手(花巻市)	0198-23-5354		ポリテクカレッジ浜松(浜松市中央区)	053-441-4444	長崎	ポリテクセンター長崎(諫早市)	0957-22-5471
	ポリテクセンター宮城(多賀城市)	022-362-2253		ポリテクセンター中部(小牧市)	0568-79-0511		ポリテクセンター佐世保(佐世保市)	0956-58-3118
宮城	東北ポリテクカレッジ(栗原市)	0228-22-2082	愛知	” 名古屋事務所(名古屋市中区)	052-221-8754	熊本	ポリテクセンター熊本(合志市)	096-242-0391
	ポリテクセンター秋田(潟上市)	018-873-3177		” 名古屋港湾労働分所(名古屋市港区)	052-381-2775		ポリテクセンター荒尾(荒尾市)	0968-62-0179
秋田	ポリテクカレッジ秋田(大館市)	0186-42-5700	三重	ポリテクセンター三重(四日市市)	059-321-3171	大分	ポリテクセンター大分(大分市)	097-522-2171
	ポリテクセンター山形(山形市)	023-686-2225		ポリテクセンター伊勢(伊勢市)	0596-37-3121	宮崎	ポリテクセンター宮崎(宮崎市)	0985-51-1511
山形	ポリテクセンター福島(福島市)	024-534-3637	滋賀	ポリテクセンター滋賀(大津市)	077-537-1164		ポリテクセンター延岡(延岡市)	0982-37-0675
	ポリテクセンターいわき(いわき市)	0246-26-1231		ポリテクカレッジ滋賀(近江八幡市)	0748-31-2250	鹿児島	ポリテクセンター鹿児島(鹿児島市)	099-254-3752
福島	ポリテクセンター会津(会津若松市)	0242-26-0515	京都	ポリテクセンター京都(長岡京市)	075-951-7391		ポリテクカレッジ川内(薩摩川内市)	0996-22-2121
	ポリテクセンター茨城(常総市)	0297-22-8800		ポリテクカレッジ京都(舞鶴市)	0773-75-4340	沖縄	ポリテクセンター沖縄(中頭郡北谷町)	098-936-1755
茨城	” 水戸事務所(水戸市)	029-221-1188	大阪	ポリテクセンター関西(摂津市)	06-6383-0949		沖縄ポリテクカレッジ(沖縄市)	098-934-6282
	ポリテクセンター栃木(宇都宮市)	028-622-9497		近畿	ポリテクカレッジ(岸和田市)	072-489-2111		
栃木	関東ポリテクカレッジ(小山市)	0285-31-1711	ポリテクセンター兵庫(尼崎市)	06-6431-7276				
	群馬	ポリテクセンター群馬(高崎市)	027-347-3333	兵庫	ポリテクセンター加古川(加古川市)	079-431-2516		
埼玉	ポリテクセンター埼玉(さいたま市緑区)	048-882-4079	奈良	ポリテクセンター奈良(橿原市)	0744-22-5224			
	ポリテクセンター千葉(千葉市稲毛区)	043-422-2224	和歌山	ポリテクセンター和歌山(和歌山市)	073-461-1531			
千葉	ポリテクセンター君津(君津市)	0439-52-0219	鳥取	ポリテクセンター鳥取(鳥取市)	0857-52-8781			
	ポリテクカレッジ千葉(千葉市中央区)	043-242-4166		ポリテクセンター米子(米子市)	0859-27-0111			
	高度ポリテクセンター(千葉市美浜区)	043-296-2580	島根	ポリテクセンター島根(松江市)	0852-31-2800			
東京	東京支部(墨田区)	03-5638-2280		ポリテクカレッジ島根(江津市)	0855-53-4567			
神奈川	ポリテクセンター関東(横浜市旭区)	045-391-2818	岡山	ポリテクセンター岡山(岡山市北区)	086-241-0067			
	ポリテクカレッジ横浜港(横浜市中区)	045-621-5999		中国	ポリテクカレッジ(倉敷市)	086-526-0321		
新潟	ポリテクセンター新潟(長岡市)	0258-33-2420	広島	ポリテクセンター広島(広島市中区)	082-245-0267			
	ポリテクカレッジ新潟(新発田市)	0254-23-2168		ポリテクカレッジ福山(福山市)	0849-23-6391			
富山	ポリテクセンター富山(高岡市)	0766-22-2738	山口	ポリテクセンター山口(山口市)	083-922-1948			
	北陸ポリテクカレッジ(魚津市)	0765-24-5552		徳島	ポリテクセンター徳島(徳島市)	088-654-5101		
石川	ポリテクセンター石川(金沢市)	076-267-0801	香川	ポリテクセンター香川(高松市)	087-867-6855			
	ポリテクカレッジ石川(鳳珠郡穴水町)	0768-52-1323		四国	ポリテクカレッジ(丸亀市)	0877-24-6290		
福井	ポリテクセンター福井(越前市)	0778-23-1010	愛媛	ポリテクセンター愛媛(松山市)	089-972-0334			



<https://www.jeed.go.jp/js/jigyonusi/seisansei.html>

## 生産性向上支援訓練のご案内

生産性向上支援訓練とは、企業が生産性を向上させるために必要な知識などを習得する職業訓練です。全国のポリテクセンター等に設置した生産性向上人材育成支援センターが、専門的知見を有する民間機関等と連携して、企業が抱える課題や人材育成ニーズに対応した訓練を実施します。

### 生産性向上支援訓練 3つのポイント

#### 1 企業の生産性向上に効果的な知識や技法を習得！

- 生産管理、組織マネジメント、マーケティング、データ活用など、あらゆる産業分野の生産性向上に効果的なカリキュラムを用意（全131コース(24.12月現在)）

#### 2 企業のニーズに合わせたオーダーメイドのコース設定が可能！

- 自社会議室等を訓練会場とすることが可能（企業に講師を派遣します）
- 実施日時や訓練時間も調整可能（訓練時間は4～30時間で設定）
- ※従業員1人からでも利用できるオープンコースも実施しています



#### 3 受講しやすい料金設定！

- 受講料は1人あたり2,200円～6,600円（税込）
- 条件を満たす場合は国の助成金（人材開発支援助成金）を利用可能

全国実績  
（累計）受講者数 **312,899** 人 利用した企業数 **104,746** 社 受講者評価（業務への役立ち度） **98.4** %  
※17～24.9月末まで

### 訓練受講までの流れ



※相談内容によっては、少人数からでも受講できるオープンコースのご利用を提案する場合があります。

**JEED** 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構  
Japan Organization for Employment of the Elderly, Persons with Disabilities and Job Seekers

～生産性向上人材育成支援センター(生産性センター)は、事業主の皆様が生産性向上に向けた人材育成を支援しています～

【本誌センター紹介ページ】

(2024.12)

### 生産性訓練 利用者の声①

#### 丸茂工業株式会社 様

「知識を身に付けたことで、仕事に対する自信が深まりました」

#### 利用コース情報

- 訓練コース名：「049 提案型営業手法」
- 訓練期間：令和5年6月
- 受講者数：6名

#### プロフィール

- 所在地：愛知県常滑市
- 従業員数：175名
- 事業内容：輸送用機械器具製造（熱間鍛造品全般）



#### <訓練を利用した事業主の方の声>

Q 利用した効果や受講者の方の反応をお聞かせください。

A 専門的な知見を有する講師の方々へ、各受講者のレベルに合わせてカリキュラムをカスタマイズした上で、演習を交えながら丁寧に指導してもらったことから、従業員の理解も確かなようで、加えて、グループワークでのディスカッションなどを通じて、新たな気づきが得られているようです。

訓練で得られた内容はそれぞれの従業員が業務で実践しており、これまでの個々の経験等に基づく知識に訓練で学んだ知識が加わることで、より知見が増し、仕事の自信にもつながっているようです。

#### <訓練を受講した方への声>

Q 受講した感想をお聞かせください。

A 訓練を受講して、自社の強みを整理し、営業先のニーズを探り、営業先担当者のプロフィールを踏まえ効果的な提案する手法を、ディスカッション形式のグループワークにより習得することができました。さらに、作成した3つのシートを用いた提案営業をロールプレイングで実践的に体験することにより、訓練内容が実際に身に付いたと感じています。訓練受講後は、自分自身の営業スタイルにも厚みが増し、相手に応じた営業戦略を立てた上でのお客様への提案（訪問、電話、メール）や社内の報告資料に各シートを活用した業務の効率化や定量化にも役立っています。今後も積極的に訓練へ参加することで、自身及び社内の課題改善につなげていきたいと考えています。

### 生産性訓練 利用者の声②

#### 株式会社中温 様

「部門間の業務連携が強化され、残業時間の大幅な削減につながりました」

#### 利用コース情報

- 訓練コース名：「038 事故をなくす安全衛生活動」「124 オンラインプレゼンテーション技術」等
- 訓練期間：令和5年7月～8月
- 受講者数：延べ32名

#### プロフィール

- 所在地：愛知県松山市
- 従業員数：192名
- 事業内容：農作物加工、瓶詰・缶詰・袋詰等製造

#### <訓練を利用した事業主の方の声>

Q 利用した効果や受講者の方の反応をお聞かせください。

A 訓練受講後に嬉しい変化がありました。「受講者に選出されることは、会社が自分に期待しているからなのだ」と社員が気づき始めたのです。受講した社員のモチベーションがアップし、他の社員も刺激を受けて、職場全体の士気が向上しています。社員同士でお互いを高め合う、よいサイクルが生まれていると思います。

今後は、全社員のレベルアップに向けて研修制度の拡充や公的資格の取得制度、人事評価制度の見直しに取り組みしていきます。その中で、ITスキルの向上やリーダー人材の育成に向けて、訓練をうまく活用していきたいです。

#### <訓練を受講した方への声>

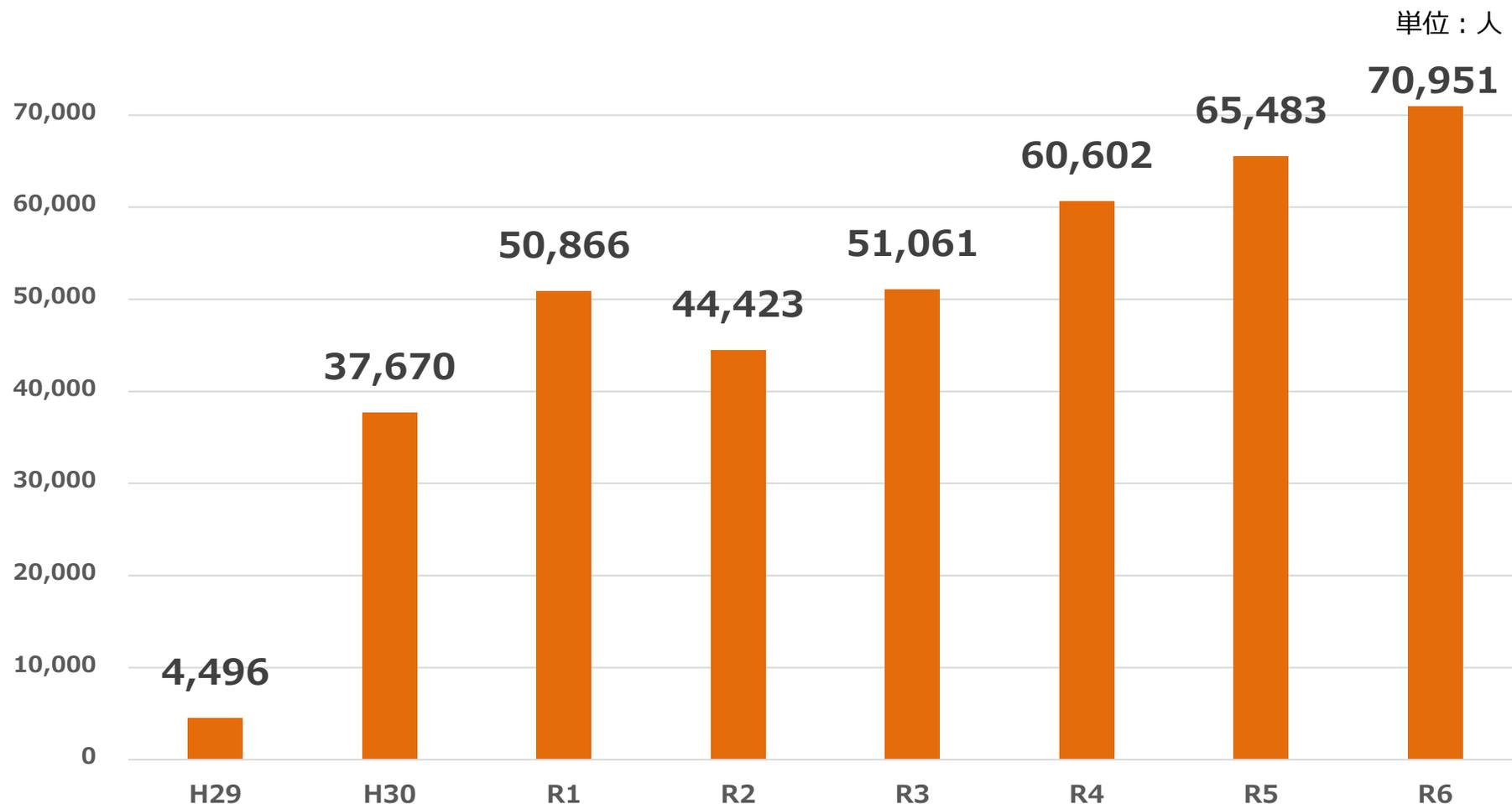
Q 受講した感想をお聞かせください。

A 私は生産管理部に所属しています。生産計画に基づき効率的かつスムーズに商品を納品できるように、営業部門・生産部門との連携強化に努めていますが、営業が保有している情報を適切に共有し、生産効率を考慮した計画を立てることが課題でした。訓練では、営業部門や製造部門の社員と共にフローチャートを書いたり、カードゲームをしたりしました。その過程で、部門ごとに業務上の優先順位が異なることに気づきました。

営業と製造現場、双方の視点を学べたほか、グループディスカッションにより部門間の意思疎通が図れたこともよかったです。受講後は、各部門間のコミュニケーションが円滑になり、業務連携が強化されたことで、残業時間の大幅な削減につながりました。今後は会社を背負う将来のリーダーとして活躍できるよう、受講経験を活かしながら人材育成にも携わってまいります。



## 生産性向上支援訓練の実績推移（平成29年度～令和6年度）



※ 令和6年度の中小企業割合は受講者数ベースで63.6%（企業数ベースでは78.0%）

生産性向上人材育成支援センターでは、

## 中小企業等におけるDX人材の育成

を支援しています！

現在、社会環境・ビジネス環境の変化に対応すべく、企業・組織を中心に社会全体のDX（デジタルトランスフォーメーション）が進んでいます。これに対応するためには、年代・職種を問わず、働き手一人ひとりがDXに参画し、デジタル技術を活用したプロセスの改善や、デジタルを活用しやすい組織づくりに取り組むことが重要となります。

生産性向上人材育成支援センターでは、生産性向上支援訓練カリキュラムモデルの中から「DX対応コース」を選定し、中小企業・事業主団体等の「DX人材の育成」を支援しています。

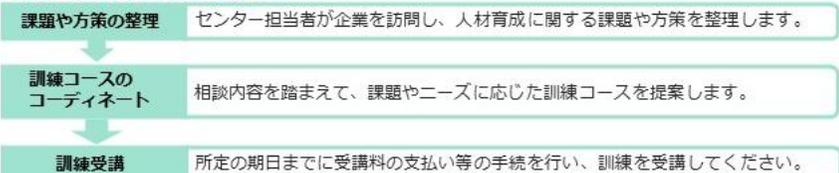


### DX対応コースの概要

生産性向上支援訓練カリキュラムモデルの中から、訓練目的・分野による分類とは別に、DX推進に向けたスタートコース、ネットワーク・セキュリティに関するコースを選定し、共通領域として設定しました。また、DXに向けた3つの課題を設定し、それぞれの課題解決に対応したコースを選定・分類しています。

共通領域	<b>DX推進に向けたスタートコース</b> DXの推進に必要な知識や導入事例を知りたい ⇒【バックオフィス分野】DXの推進	○受講対象者 事業主の指示を受けた在職者の方  ○訓練日数・時間 おおむね1～5日 （4～30時間）  ○受講料（1人あたり・税込） 2,200円～6,600円  ○訓練会場 自社会議室等を訓練会場とすることが可能です（講師を派遣します）
	<b>ネットワーク・セキュリティに関するコース</b> 社内ネットワークのセキュリティ対策を進めたい ⇒【倫理・セキュリティ分野】脅威情報とセキュリティ対策	
3つの課題	<b>デジタル化と新しい生活様式の課題への対応コース</b> 自社業務に適切なITツールを選定したい ⇒【バックオフィス分野】ITツールを活用した業務改善	
	<b>業務プロセスの課題への対応コース</b> システム化に伴うコストの考え方を知りたい ⇒【バックオフィス分野】失敗しない社内システム導入	
	<b>ビジネスモデルの課題への対応コース</b> IoTによるビジネス環境の変化や動向を知りたい ⇒【組織マネジメント分野】IoTを活用したビジネスモデル	

### 訓練受講までの流れ



※相談内容によっては、少人数からでも受講できるオープンコースのご利用を提案する場合があります。



生産性センターHP

(2024.12)

## 株式会社岡田建具製作所 様

DX対応コース  
利用者の声①

「RPAを業務に活用するイメージが掴め、導入に向けて動き始めることができました」

利用コース情報

- ・訓練コース名：「096 RPA活用」
- ・訓練期間：令和5年8月
- ・受講者数：9名

プロフィール

- ・所在地：北海道恵庭市
- ・従業員数：28名
- ・事業内容：木製建具・造作家具の製作・施工



<訓練を利用した事業主の方の声>

Q 利用した効果や受講者の方の反応をお聞かせください。  
 A これまでに利用した講義形式のセミナーとは異なり、実際にPCを用いて業務プロセス自動化が体験できたため、自社への具体的な導入がイメージできました。また、管理者・担当者が受講したことにより、各部署各立場での導入効果や課題を共通認識として持つこともできました。受講者アンケートでも満足度は高く、「業務に役立てることができる」ことがその理由だというのも大変嬉しく思っています。今後は、各部署が自らの業務に適したRPAの活用に取り組み、全社的に業務効率化を進めていくことを期待しています。また、必要に応じて未受講の社員に対しても訓練を実施したいと考えています。

<訓練を受講した方の声>

Q 受講した感想をお聞かせください。  
 A 当社では、製造部門（工場）と同様に事務部門でもカイゼン活動に取り組んでいますが、何から着手すればよいかを明確にできず、また、活動の成果を実感することも困難でした。今回の訓練でRPA活用の対象となる非効率業務の抽出方法や業務効率化のためのRPAの具体的な活用方法を習得できました。実際にPCを使って教えていただいたので、RPAを活用したカイゼン活動に取り組む際のハードルがかなり低くなり、積極的な取組への動機づけにもなりました。これからは、RPAをツールとして、総務の業務だけではなく製造及び営業のバックオフィス業務の効率化をサポートしていこうと思っています。

DX対応コース  
利用者の声②

## 株式会社ビッドシステム 様

「DXを様々な視点で捉えられるようになったことで、顧客に積極的に提案できるようになりました」

利用コース情報

- ・訓練コース名：「119 DXの推進」「126 DX人材育成の進め方」
- ・訓練期間：令和5年9月～11月
- ・受講者数：各9名

プロフィール

- ・所在地：群馬県伊勢崎市
- ・従業員数：10名
- ・事業内容：コンピュータソフトウェアの開発及び販売

<訓練を利用した事業主の方の声>

Q 利用した効果や受講者の方の反応をお聞かせください。  
 A 今年度、DXをテーマに選んだのはソフト開発の会社としてDXを様々な視点で捉えた訓練を行ったからです。訓練を利用することで「顧客にとってのDXとは何か？」「顧客が関わっているユーザーにとってのDXとは何か？」が具体的にイメージできてきました。訓練を重ねて受講することで、社員から「自分の仕事が整理できてきた、何がポイントが見えてきた」との声が聞こえており、これからは継続して訓練を活用していきたいと思えます。

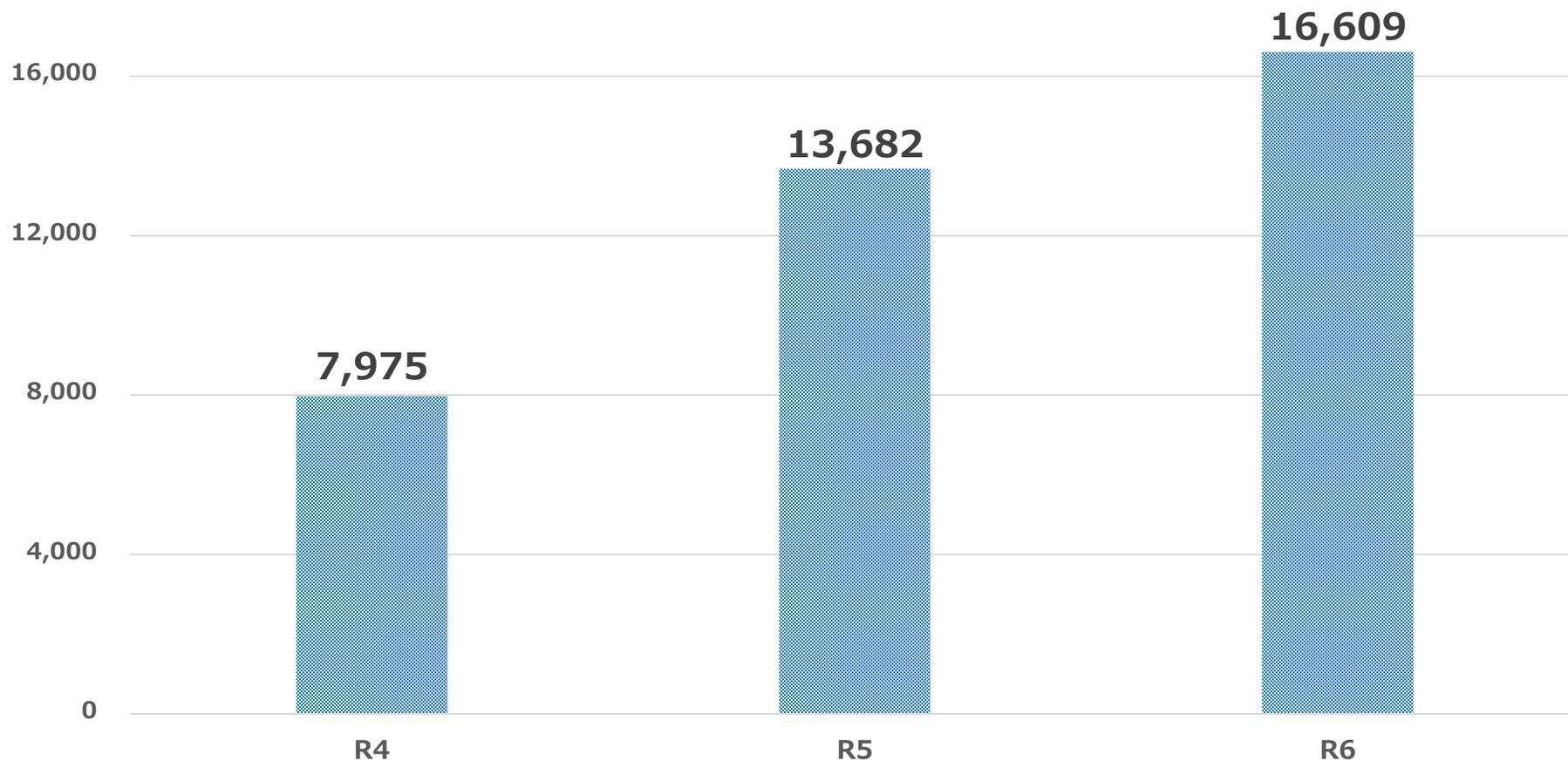
<訓練を受講した方の声>

Q 受講した感想をお聞かせください。  
 A 今回の訓練テーマであるDXについて、最初は敷居が高く感じていましたが、講師の話聞いてみると、自分達が既に以前から取り組んでいるWeb上の業務管理等もDXの一つだとわかり、DXが身近なものに感じました。また、訓練の中で講師から他社のDXの取組事例等を紹介してもらいとても参考になりました。今までは顧客の要望に応えるだけでしたが、DXを意識すれば、もっと役に立つものがたくさんあると思うので、これからはもっと発展して提案等ができるような気がします。普段はあまり社内でも議論することがないため、演習の中で他の社員達の意見を聞くことができ、新しい発見や考え方を聞いて情報共有できたのはとても学びになりました。



## DX対応コースの実績推移（令和4～6年度）

単位：人



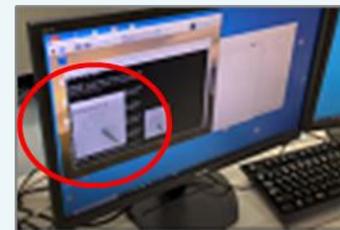
※ 令和6年度の中小企業割合は受講者数ベースで64.8%（企業数ベースでは78.9%）

現場力の強化、生産性向上、業務改善、製品等の高付加価値化などの生産活動等における課題解決に向け、**DXにつながる技術（AI、IoT、クラウド、ドローン等）を活用したDXの推進に対応できる人材を育成**するための訓練を実施

#### ～DX対応コースの一例～

##### 「AI活用による画像認識システムの開発」

製造業における効率的な製品検査等を実現するために、画像認識システムの開発に必要な、**機械学習に関する画像データの設定や効果的な画像処理の手法**を習得する。



▲画像認識システム

##### 「ドローンを活用した建物劣化診断技術」

外壁の劣化診断においてドローンを活用することで、高所作業による危険を減らし、診断作業の効率化を実現するために、ドローンに関する法律等を学び、**運用上の整備・点検、操縦方法等のドローン技術と併せて、建物診断に必要な技能・知識**を習得する。



▲ドローン操縦訓練

離職者訓練

就職先企業がDX、GXを進めるに当たり、**各業界の基盤となる技能・技術に加え、その内容に関連したDX、GXにつながる技術を活用できる人材を育成**するための訓練を実施

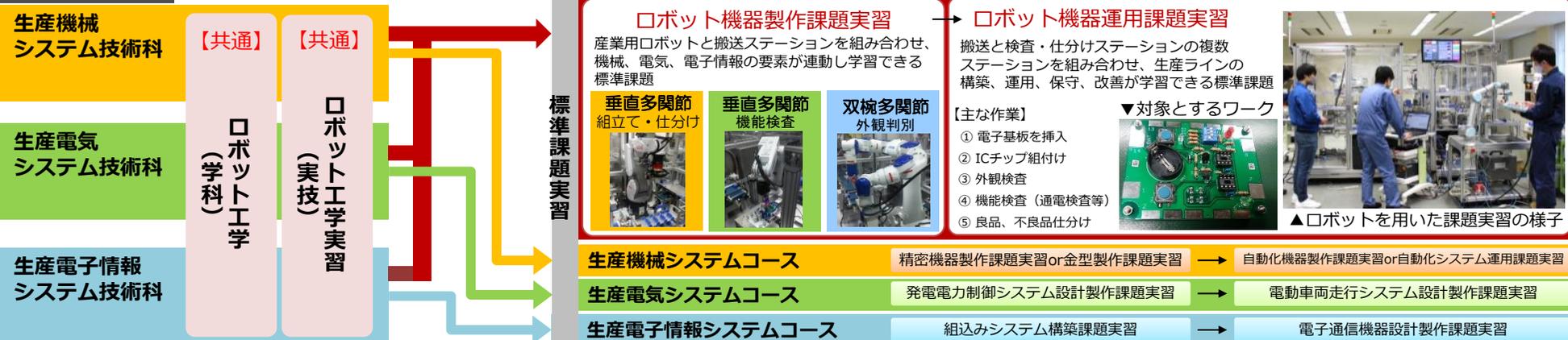
		【訓練科の一例】			
生産システム 技術科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目指す技術者像 機械技術者、機械組立技術者</li> <li>・DXにつながる技術概要 製造工程において協働ロボットを活用することで、「省人化」や「人との協働作業」が実現でき、工場の労働力不足の解消や生産性向上に資する。</li> </ul>	<p>自動化システムの設計・構築</p> <p>基盤となる技能・技術</p>	<p>協働ロボットを活用した自動化システムの構築</p> <p>DXにつながる技術</p>		
	スマートエレクトロニクス システム科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目指す技術者像 電気設備設計補助、電気設備施工技術者</li> <li>・DX、GXにつながる技術概要 HEMSを活用することで、電気やガス等の使用量の「見える化」や家電の「自動制御」ができ、節電・省エネ（脱炭素化）に資する。</li> </ul>	<p>住宅の電気設備設計・施工</p> <p>基盤となる技能・技術</p>	<p>太陽光発電システム・HEMSの施工</p> <p>DX、GXにつながる技術</p>	

高度技能者養成訓練

○ロボット技術に対応した訓練の実施（生産ロボットシステムコース）

ロボット技術を活用した、**生産性向上に向けた生産システムの構築、運用管理、保守及び改善ができる**「将来の生産技術・生産管理部門のリーダー」を育成するための訓練を実施

訓練の流れ



開発課題実習

# まとめ

- JEEDは厚生労働省所管の独立行政法人で、「らしく、はたらく、ともに」というメッセージのもと、誰もが安心して働ける社会の実現を目指しています。
- JEEDでは、中小企業等の課題に合わせた“伴走型の人材育成支援”を実施しています。
- JEEDの訓練は、実務に直結する訓練で、中でもDX対応コースは年々拡大しており、中小企業での活用事例も増えています。